



## 立命館大学体育会射撃部

### OB通信 2003年度 第2号

# 立命館大学射撃場建設決定！！



### 「射撃場建設決定のご報告」 OB会長 太田 英世

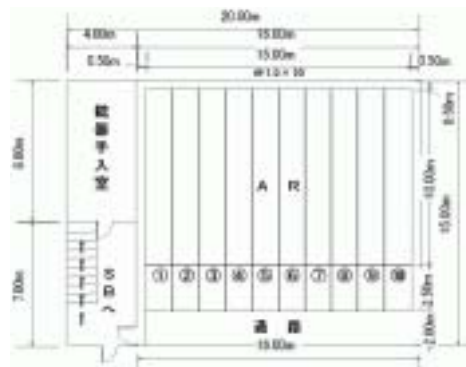
平素よりOB・OGの皆様にはOB会へ格別のご高配を賜り有難うございます。さて、今回は皆様に大変嬉しいご報告があります。私達の永年の夢でありました「射撃場建設」がついに実現されることになりました。来年には創部75周年を迎える節目に、このような吉報を皆様にお伝えできることは、無常の喜びとするところであります。今日ここに至るまでには、OB・OGの皆様の累累としたご努力があったことと思います。ここにあらためて御礼とご報告を申し上げます。

1991年全学協議会の場で、体育会各クラブの施設要求として射撃場建設の問題も取り上げられ、「積年の要求」として、建設を前提とした検討が約束されました。OB会は、その後も大学当局と交渉を続けてまいりましたが、建設場所や多額の建設費用の問題もあり、検討が約束されたものの簡単には実現に至りませんでした。一時期はエアライフル(以下AR)の室内射撃場だけならば、建設可能との感触も得て、スモールポアライフル(以下SB)の射撃場を要求し続けることにより何も実現しないのであるなら、AR射撃場だけでも建設していただけるよう大学にお願いしたこともあります。しかし、AR射撃場だけを建設した場合、SBを撃つ上回生は八瀬射撃場、ARの下回生は大学の射撃場で別々に練習することになります。大学の課外活動は、教室の授業だけでは得られない貴重な青年期の人間形成の場でもあります。上下回生がまったく別の場所で活動するのであれば、体育会クラブとしての有り方に疑問が残ります。このことを大学側に訴え、AR射撃場の建設を獲得目標としながらも、建設費用を抑えた簡便なSB射撃場の建設を合わせて要求してきた結果、今年10月に開催された2003年全学協議会で、AR・SB両射撃場を建設することを大学側から公式に発表がありました。田村監督の熱心な指導のもと、現役学生諸君は全関

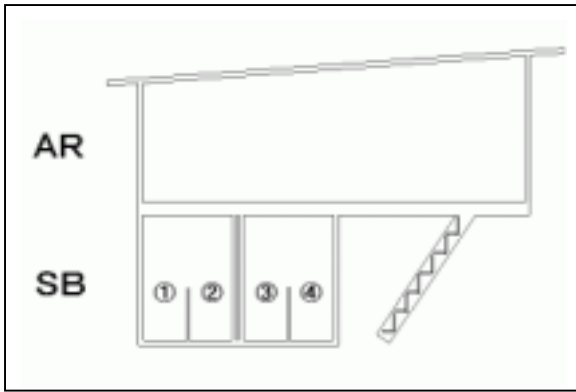
西学生ライフル射撃選手権大会で連勝し続けるという、立命館大学のいかなる体育会クラブも追従できない素晴らしい戦績を残してくれています。言葉にも勝る「戦績」という無言の要求が、大学側の決断を促してくれたのではないのでしょうか。

現在のところ概要でしかお伝えできませんが、京都市北区にある大学の柵野グランドの中にAR室内射撃場(10射座)、SB地下射撃場(4射座)を予定しています。SB射撃場はボックスカルバート2本を地下に埋設する形で建設し、オープンエアの射撃場よりもコストを抑えたものとなります。AR室内射撃場は空調を完備し、年間を通じて利用が可能となります。SB射撃場のコストは抑えられていますが、今回の建設には多額の建設費用が必要です。メジャースポーツとは言えない射撃競技にも関わらず、現役学生のために大英断を行ってくれた大学、そして、関西で勝ち続け、全日本優勝、世界選手権やオリンピック出場までを視野に入れつつある現役学生たちの頑張りに応えるため、我々OB・OGも最大限の支援を行わなければなりません。

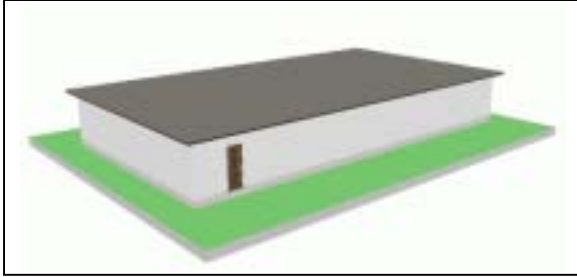
来る11月17日、私は田村監督、OB会の中で射撃場建設の責任者である林國松君、そしてOB会事務局の丸山君とともに立命館の川本理事長と会談いたします。そこでは、射撃場建設により、もう一段高いレベルに射撃部が飛躍すること、OB会ができる限りの支援を行い、現役学生を支え続けることを決意表明し、理事長と射撃部との間で射撃場建設について固い約束を行います。来年は創部75周年記念式典を予定しており、その時には、会談の内容も踏まえて、射撃場建設の詳細について皆様にご報告ができるものと思います。永年の夢である射撃場があと一歩で現実の形となるまで参りました。OB・OGの皆様には、より一層のご理解とご支援を賜りますよう切にお願いして、第一報とさせていただきます。



射撃場計画図面 その1(大学への要望書より)



射撃場計画図面 その2(大学への要望書より)



AR室内射撃場の完成想像図

## ■ 戦績報告

### 全関西学生ライフル射撃選手権大会25連覇!

第50回秋季全関西学生ライフル射撃選手権大会と第9回秋季全関西女子学生ライフル射撃選手権大会が、9月3日から6日まで大阪府能勢町国体記念スポーツセンターで行われました。後の全日本学生ライフル射撃選手権大会につながる重要な試合であり、8月28日から31日まで夏合宿を行い万全の状態ですべてに臨みました。結果は、課題の残る点もありましたが、総合団体・全種目団体優勝の完全優勝で25連覇を成し遂げることができました。

**総合団体 優勝5105点**

50m3×20

**団体の部 優勝1651点**

木村千穂 547 織田健太 548 坪田夏世 556

**個人の部 3位坪田夏世 646.6**

50mP60

**団体の部 優勝1703点**

山下和訓 570 前澤健志 566 岩倉明香 567

**個人の部 優勝坪田夏世 678.7** 3位木村千穂 676.2

10mS60

**団体の部 優勝1751点**

小松真奈 578 松本真由美 581 中原麻衣 592

**個人の部 優勝中原麻衣 695.1** 2位木村千穂 684.0

3位松本真由美 682.6 8位小松真奈 677.0

10mS40W

**団体の部 優勝1147点**

松本真由美 386 岩倉明香 374 中原麻衣 387

**個人の部 2位中原麻衣 486.4** 3位松本真由美 485.6

8位小松真奈 479.5

### 全日本学生ライフル射撃選手権大会惜敗

第50回全日本学生ライフル射撃選手権大会及び第15

回全日本女子学生ライフル射撃選手権大会が、10月31日から11月3日まで大阪府能勢町国体記念スポーツセンターで行われました。全日本学生ライフル射撃選手権大会は1年間の集大成の試合であり、今回は地元開催ということもあり、優勝を目指していたのですが後一歩力及びませんでした。しかし、50mP60団体は1位と4点差の5位、10mS60団体は3位という結果で、10mS40Wは1位と2点差の2位という結果でした。全日本学生ライフル射撃選手権大会優勝まで後わずかな所までできているのは間違いありません。来年こそは必ず優勝を勝ち取りたいと思います。

**総合団体 5位5096点**

50m3×20

**団体の部 6位1633点**

織田健太 535 坪田夏世 551 木村千穂 547

50mP60

**団体の部 5位1720点**

岩倉明香 576 前澤健志 566 山下和訓 578

10mS60

**団体の部 3位1743点**

松本真由美 578 中原麻衣 591 小松真奈 574

**個人の部 3位中原麻衣 694.3**

10mS40W

**団体の部 2位1165点**

中原麻衣 393 木村千穂 384 松本真由美 388

**個人の部 3位中原麻衣 494.3**

団体の部の下段はレギュラー選手の得点

個人成績はファイナル実施後の成績



(写真:試合を終えて)

<現役員部のホームページ>

<http://www.geocities.co.jp/Athlete-Acropolis/7869/index.html>

<OB会のホームページ>

<http://www.geocities.co.jp/Collegelife-Lounge/9501>

編集 山下 和訓 文3回生 丸山 健 OB会事務局  
グラフィック 三谷 恭弘 OB会常任理事

編集後記 「夢それは叶えるもの」 前総長の大南先生が好んで言われた言葉です。射撃場建設決定、多くの方々に、ただ感謝感謝です。 OB会事務局 丸山